

学習課題(小学校6年生)

【算数】「※」は、学習する時のアドバイスです。

〈学習内容〉 ◆開け！算数ワールド（教科書 216～230 ページ）

教科書 221 ページにある展開図を組み立てて、さいころを作ります。

このさいころをふると、どのマークの目が出やすいと考えられるでしょうか。

●どのマークの目が出やすいか理由も書いてみよう。



「出やすい」とはどういうことかな？

※ハート、スペード、ダイヤのマークはそれぞれいくつあるかな？

さいころを2つ作ります。2つのさいころを同時にふることを何回もくり返して、2つのさいころの目の出方を記録します。どのマークの組み合わせがよく出ると考えられるでしょうか。

●どのマークの組み合わせがよく出ると思うか書いてみよう。

「出やすさ」とは、何回もふった時に、一番多く出るといことです。

●考えた理由を樹形図などを使って説明しましょう。

※実際に確かめる時は、さいころの4・5・6の目をハート、2・3の目をスペード、1をダイヤとしてみると実験できるよ。

※教科書 221 ページの表を使ってもよいですよ。

調べた結果からどんなことがいえますか。

●どのマークの組み合わせが多くなりましたか？

いちばん出やすい（ことがらの起こりやすさ）ことを「確率」といいます。



確率（ことがらの起こりやすさ）を正しく求めるためには、落ちや重なりなく順序よく整理することが大切だね。

次のようなパズル（ハノイのとう）に挑戦してみましょう。

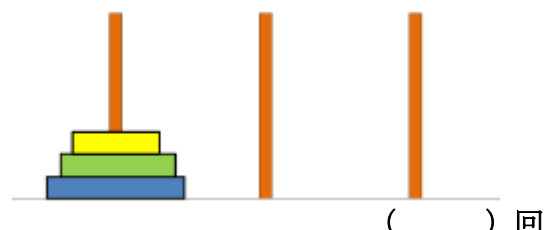
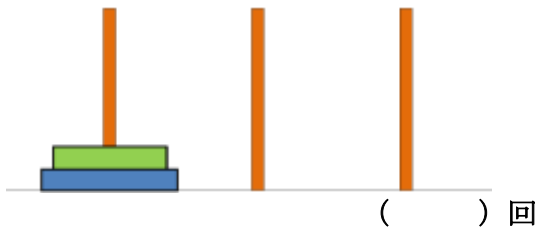
ハノイのとうのルール

- すべての円板を、今ある棒からほかの棒に、できるだけ少ない回数で移します。
- 1回に動かせる円板は1枚だけです。
- 小さい円板の上に大きい円板を重ねることはできません。



2枚のときは、何回の操作でできるでしょうか。

3枚のときは、何回の操作でできるでしょうか。

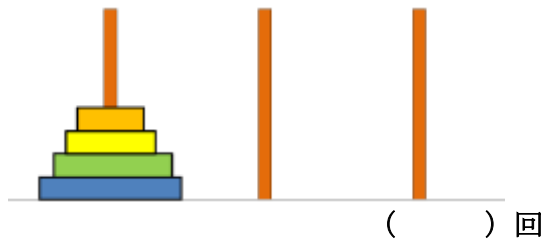


枚数	1枚	2枚	3枚	
回数	回	回	回	



動かし方にきまりはあるのかな。

4枚のときは、何回の操作でできるでしょうか。



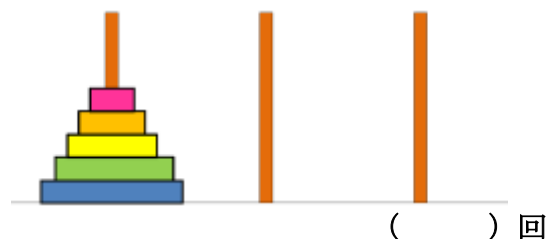
- 動かし方で気付いたことを書いてみましょう。

※3枚のときの動かし方をもう一度みてみよう。
円板4枚の動かし方は、
「○枚のとき」+1手+「○枚のとき」になっているね。



5枚のときは、何回の操作でできるでしょうか。

- 実際に動かし方を考える前に予想回数を考えてみましょう。理由を書けるとさらにすばらしいです。



◆算数のまとめ（教科書 200～215 ページ）

教科書やノートに教科書 200～215 ページに取り組みましょう。

※もし考え方が分からない問題があったら、問題に付いている「学びのマップ」を見て、復習してみよう。

- 1 数のしくみ ○整数、小数、分数
○四捨五入
○偶数、奇数、倍数、約数

学びのマップ p.261.262①⑤

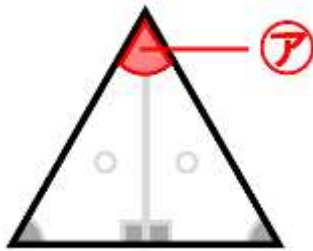
学びのマップ p261②

学びのマップ p261.262③④

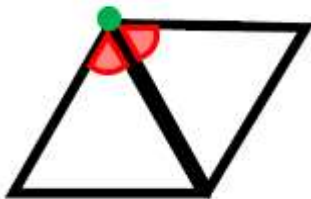
※「数のしくみ」「計算」「計算のきまりと式」「平面図形」「立体図形」「面積、体積」「量と単位」「比例と反比例」「数量の関係と変化」「表とグラフ」ごとに問題があります。自分の得意な領域や苦手な領域を調べてみましょう。

力だめしの問題！

三角定規2つを合わせてつくった正三角形



アを1つの点のまわりに集めてならべると、ぴったりになるかな？



ぴったりになると思いますか？
理由も書いてみましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆開け！算数ワールド（教科書 P216～230） ◆算数のまとめ（教科書 P200～215）

- ・「開け！算数ワールド」のハノイのとうは、一番大きな円板を一回しか動かしていないことに注目するように促してください。
- ・「算数のまとめ」では、一緒に学習状況を確認しながら、自分に必要な内容を選択して復習することが大切です。